

10月31日に退院をして戻ってこられた利用者様のことを書かせていただきます。

入院をする前は、目があまり見えていないが自分で歩き、食事も自分で食べていた元気な方でした。しかし、一ヶ月の入院を終えて、吾も紅へ帰ってこられたときは水分、食事はほとんど摂取できず点滴を行い会話もできませんでした。

一週間ほどたったとき、「腹が減った」「何かおくれや」と大きな声で言われました。

そのときから、少しずつではあるが水分、食事の量が増えてきて会話も増えました。

その後、一ヶ月たったころには家にも帰れるようになり、家族様もとても喜んでおられました。

今回のことで、食べること飲むことの大切さを改めて考えさせられました。この利用者様にももっと元気になってもらえるよう、がんばっていききたいと思います。(松比良)

【吾も紅での日々の様子】

外出やレクリエーションなど豊富な活動で毎日を楽しんでいます



奥道後菊花展にて



文化祭への出展作品を作りました



職員と利用者様と一緒に



外出 買い物はみなさん大好きです